

フランス観光開発機構プレスリリース
2021年5月12日

持続可能なフランス観光とは？ フランスの観光業界組織がオンラインで国内外から意見聴取



フランスの主たる観光事業者の集団で、国に対し持続可能な開発戦略を提言する**観光セクター委員会**（Comité de filière tourisme）は、ヨーロッパ・外務省の支援を受け、2021年5月10日から6月20日までの間、レスポンシブル・ツーリズム（責任ある観光）について一般からオンラインで意見を聴取し、フランス国内はもとより、日本も含めた国外からの旅行者の提言を募ります。

フランスへの旅行者として、持続可能な観光に必要なアイデアをお寄せ下さい。

2021年5月10日から6月20日まで実施されるこのアンケートは「フランスの持続可能な観光発展にどう取り組むべきか」という総合的な課題を問うもので、フランスの観光事業者が国や地域レベルで、また観光に関わるあらゆる業種を通じて、観光業を持続的かつ責任ある形で発展させるために優先的にとるべき施策の提案を呼び掛けています。

この意見聴取はヨーロッパ・外務大臣付観光・在外フランス人・フランコフォニー担当副大臣であるジャン=パティスト・ルモワヌが主宰する観光セクター委員会で取り上げた考察の延長線上として実施されます。

当委員会には主要な観光事業者が集められ、国の持続可能な開発戦略を提言しています。メンバーは次のとおり。フランス観光開発機構（Atout France）、アウトドア宿泊施設全国協議会（FNHPA）、地域投資銀行（Banque des territoires）、持続可能な観光事業者連合（Acteurs du tourisme durable : ATD）、SDGs達成のための意識向上を目的とした教育的な団体テラジール Teragir。さらに、この取り組みにはフランス観光連盟（l'Alliance France tourisme）、責任ある観光

のための活動（Agir pour un tourisme responsable）ネットワーク、旅行会社連絡協議会、Huttopia、公平かつ連帯のための観光団体（l'Association pour un tourisme équitable et solidaire）も協力しています。

「この健康危機の中で、観光産業は最も深刻な影響を受けている業種の一つである。観光業の再スタートで国際間の競争はさらに激化するなか、持続的な観光発展はこの困難な状況を打開する道筋となるだろう。より環境に優しい成長の機会が、環境エコシステムの保全と発展を可能にする。世界有数の観光地であるフランスは卓越した持続可能な観光サービスを提供することで、この地位を維持していきたい」。

ジャン＝バティスト・ルモワヌ（ヨーロッパ・外務大臣付観光・在外フランス人・フランコフォニー担当副大臣）

業界が再スタートを切り、国内外の動きが活発化していくなか、観光産業は新たなバランスを模索し作り出すという大きな課題に取り組まねばならなくなっています。

「より持続的な発展、より責任ある観光」という戦略的なロードマップは、集団で設計されるべきものです。あらゆるエコシステムがこの大きな転換期を意識したうえで、変化や適合をし、時には大胆に生まれ変わる必要があるのです。

意見聴取に参加する

<https://make.org/JP/consultation/sustainable-tourism/selection>

- フランス観光開発機構 公式ウェブサイト：<https://jp.france.fr/ja>
- 当リリースの関連ハッシュタグ #France #SustainableTourism #ExploreFrance
- 当リリースに使用したメインビジュアル（報道関係者向け）：<https://bit.ly/3bhA1PV>

当リリースに関するお問合せ：

フランス観光開発機構（東京事務所）

広報担当 増田真由美

mayumi.masuda@atout-france.fr

<https://jp.france.fr>

関係組織

フランス観光開発機構 Atout France

フランス観光開発機構（Atout France は）、国際的な観光デスティネーションとしてのフランスの位置づけを強化する役割を担っています。地域の開発戦略を支援し、フランスの観光サービスを活性化しその質を向上させるための投資プロジェクトの形成を支援します。フランス観光開発機構は、1,300 のパートナー企業・団体に対して、観光需要を把握するためのツールを提供し、国際的なデスティネーションブランドに基づいたマーケティングやプロモーション活動を行うことで、彼らの国際的な展開を強化しています。また、旅行者に提供するサービスの質を保証するための認可制度（格付け、登録、認証）を担当しています。フランス観光開発機構は 29 か国 32 の事業所のネットワークを通じて、国際的なミッションを展開しています。

アウトドア宿泊施設全国協議会 (FNHPA)

キャンプ場経営者の代表的な職業組合です。キャンプ場はフランスの観光産業に欠かせない部門であり（年間売上 30 億ユーロ、施設数 8,000、年間の利用者数 2,200 万人）、収容人数からみるとフランスの宿泊形態の中では最大規模を誇ります。

ADN ツーリズム ADN Tourisme

2020 年 3 月 11 日に、歴史ある 3 つの観光事業者と観光機関（「フランス各地の観光局連合」、「観光と地域」、「地方デスティネーション」）を集めて誕生した組織。地域圏、都市圏、海外領土と 3 つの段階における観光機関（都市レベルの観光局、県観光局、地方観光局）をまとめ、全国で約 1,100 の組織と 11,500 人の従業員の力を結集しています。

持続可能な観光事業者（ATD）協会 L'association ATD – Acteurs du Tourisme Durable

ATD は、責任あるツーリズムを目指す観光事業者たちの初のネットワークで、観光セクター全体を束ね、その実践の進化を支援するとともに、持続可能性の実現に向けたさまざまな活動を通じて関係者間の交流を促進することを目的としています。ATD は、観光業界のさまざまな業種からなる 150 人のメンバーで構成されています。

テラジール Teragir

Teragir は、国連が定めた 17 の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、すべての関係者（学者や教師、企業、機関、個人など）の意識を高め、団結させることを目的とした教育的な団体です。フランスにおける SDGs の運営者として、Teragir は、観光（ブルーフラッグ、グリーンキー）と青少年（エコ・エコール、国際森林デー、環境のための若い記者たち）の分野で一連のアクションプログラムを主導しています。